

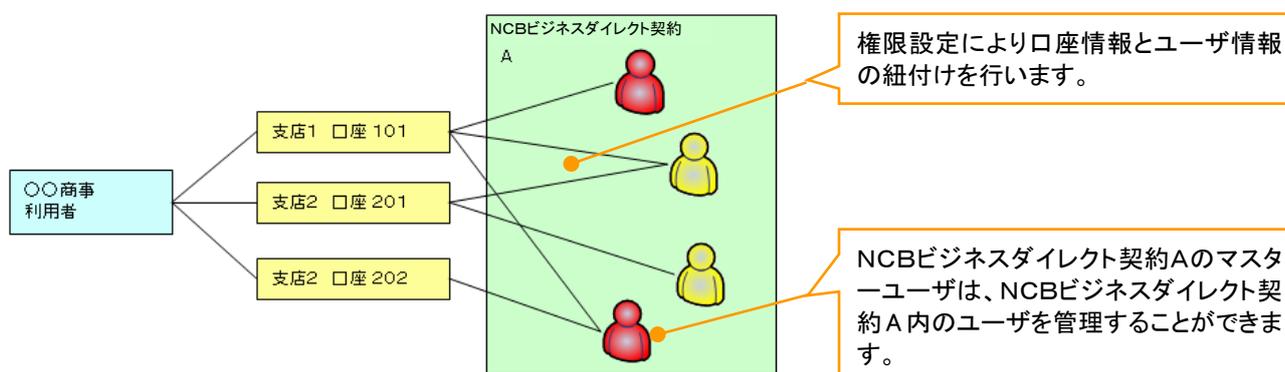
ユーザについて

➤ ユーザはマスターユーザと一般ユーザの2種類存在します。

ユーザの種類	説明
マスターユーザ 	自分自身を含めた全てのユーザを管理することができるユーザ。
一般ユーザ 	マスターユーザによって管理され、業務権限が付与されたユーザ。

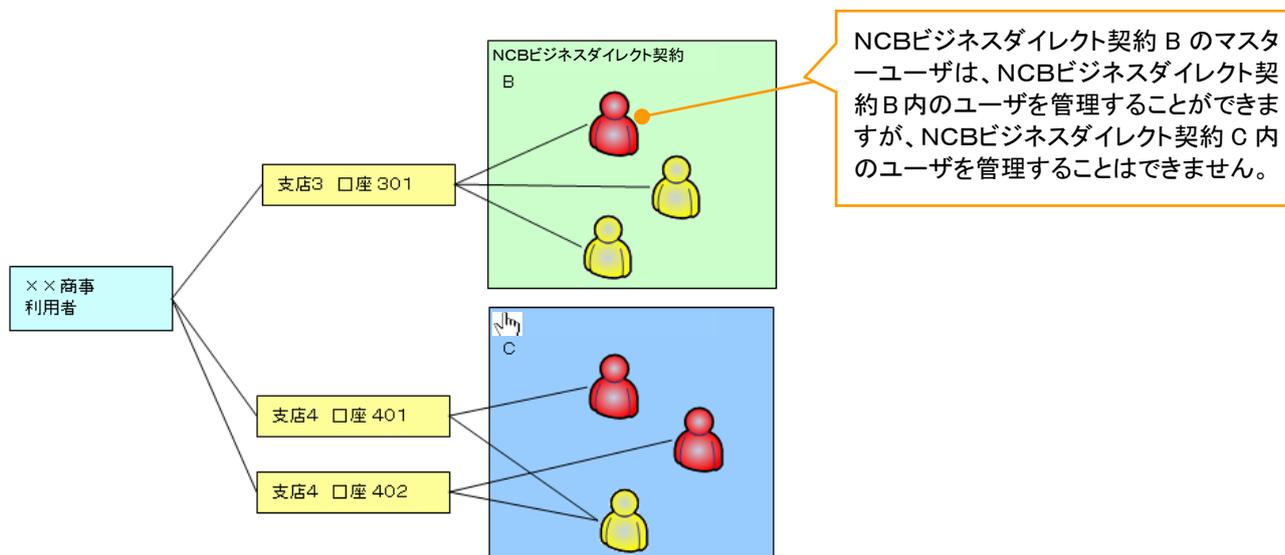
➤ NCBビジネスダイレクト契約パターンと《電子記録債権取引システム》との紐付けについて

【1企業に対するNCBビジネスダイレクト契約が1契約の場合の例】



【1企業に対するNCBビジネスダイレクト契約が複数契約の場合の例】

NCBビジネスダイレクト契約ごとに利用できる口座を紐付けることができます。^{※1}

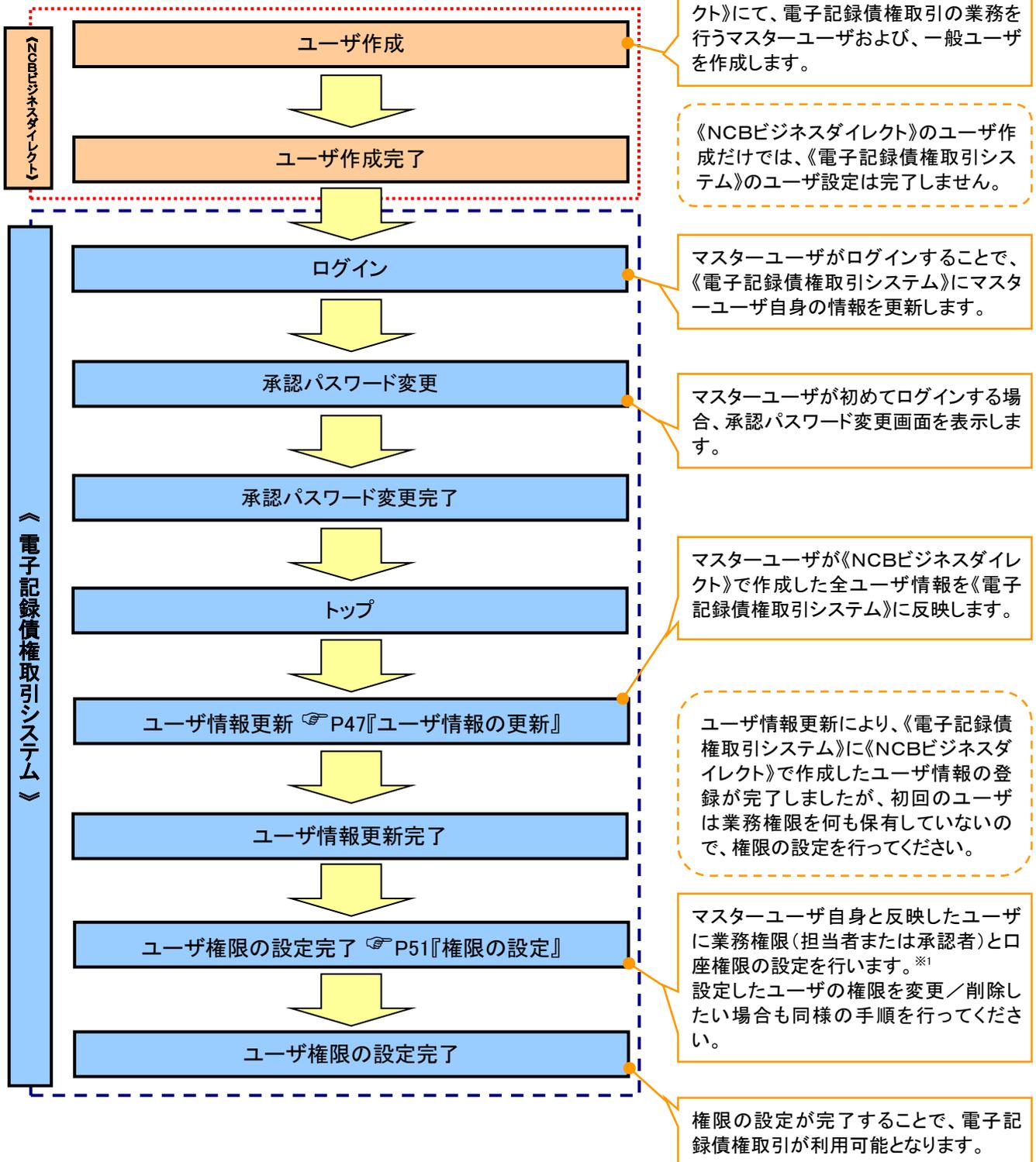


① ご注意事項

※1 :1口座に複数のNCBビジネスダイレクト契約を設定することはできません。また、NCBビジネスダイレクト契約と口座の紐付けについては、申込書にもとづいて当行にて行います。

ユーザ設定の流れ

➤ マスターユーザが初回に行うユーザ設定する場合の流れ



マスターユーザは《NCBビジネスダイレクト》にて、電子記録債権取引の業務を行うマスターユーザおよび、一般ユーザを作成します。

《NCBビジネスダイレクト》のユーザ作成だけでは、《電子記録債権取引システム》のユーザ設定は完了しません。

マスターユーザがログインすることで、《電子記録債権取引システム》にマスターユーザ自身の情報を更新します。

マスターユーザが初めてログインする場合、承認パスワード変更画面を表示します。

マスターユーザが《NCBビジネスダイレクト》で作成した全ユーザ情報を《電子記録債権取引システム》に反映します。

ユーザ情報更新により、《電子記録債権取引システム》に《NCBビジネスダイレクト》で作成したユーザ情報の登録が完了しましたが、初回のユーザは業務権限を何も保有していないので、権限の設定を行ってください。

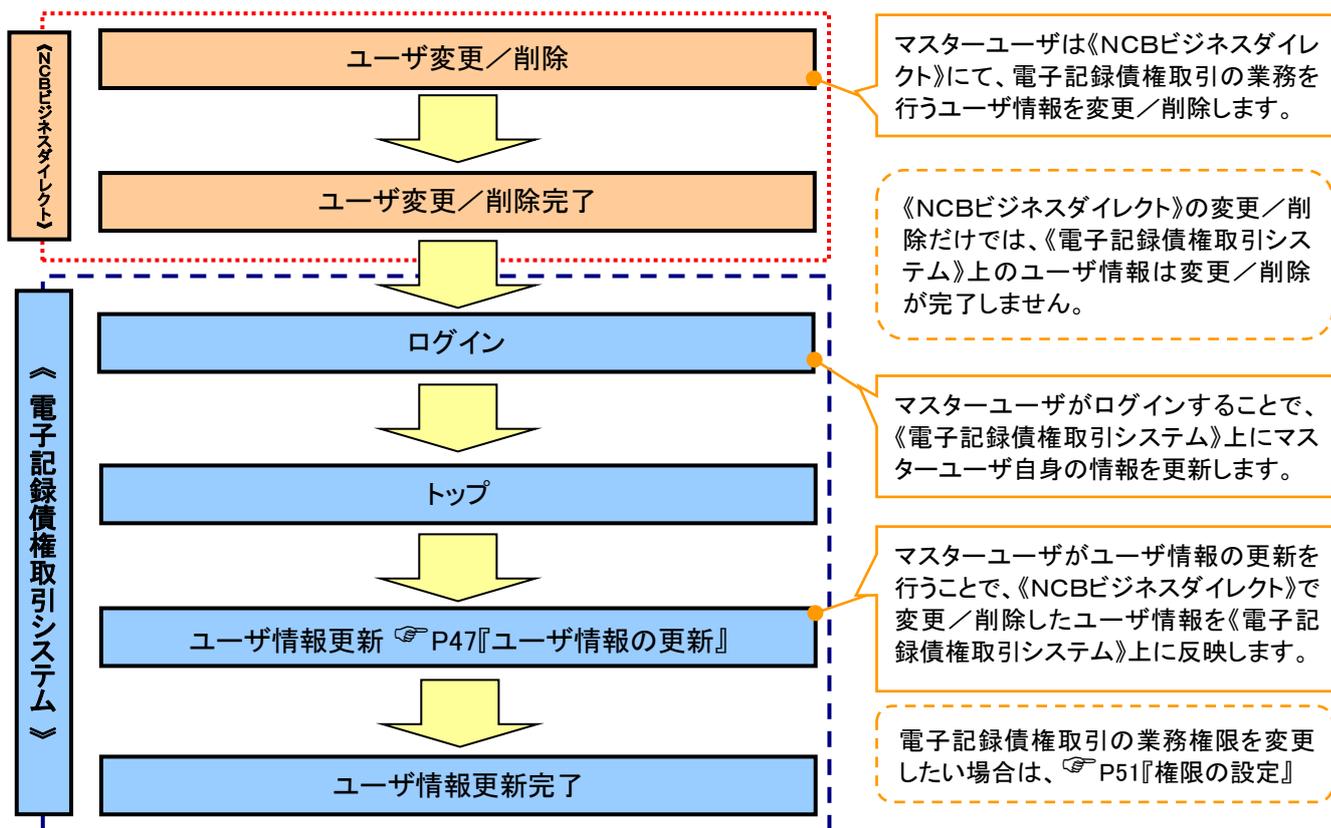
マスターユーザ自身と反映したユーザに業務権限(担当者または承認者)と口座権限の設定を行います。^{※1} 設定したユーザの権限を変更/削除したい場合も同様の手順を行ってください。

権限の設定が完了することで、電子記録債権取引が利用可能となります。

① ご注意事項

※1 : マスターユーザは、作成するユーザに対して、自分自身が持っていない権限も付与することができます。

➤ マスターユーザがユーザ情報を変更／削除設定する場合の流れ



➤ マスター、一般ユーザの実施可能取引について

マスターユーザが管理対象ユーザ(自分自身・他のマスターユーザ・一般ユーザ)に対して、《電子記録債権取引システム》上で実施できる項目を示します。また、一般ユーザが実施できる項目を示します。

ユーザ種別	管理対象ユーザ	実施可能取引					
		ユーザ登録	ユーザ変更		ユーザ削除	ユーザ照会	承認パスワード変更(自分自身)
			ユーザ権限	承認パスワード初期化			
マスターユーザ	自分自身	○※1	○	×	×	○	○
	他のマスターユーザ	○※2	○	○	○※2	○	/
	一般ユーザ	○※2	○	○	○※2	○	/
一般ユーザ	自分自身	○※1	×	×	×	×	○

❶ ご注意事項

※1 : ログインすることで、《電子記録債権取引システム》上に自分自身の情報を登録します。

※2 : マスターユーザがユーザ情報の更新を行うことで、《電子記録債権取引システム》上のユーザ情報を登録／削除します。

➔ ユーザの初期状態

ユーザが初期状態で保有している利用可能な取引です。削除することはできません。

ユーザの種類	利用可能な取引
マスターユーザ	<ul style="list-style-type: none"> ユーザの変更 ユーザの更新 ユーザの照会 承認パスワード初期化 企業情報の変更
全ユーザ (マスターユーザ、一般ユーザ)	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の承認パスワード変更 自分自身の操作履歴照会 取引先照会 通知情報照会 一括記録(結果一覧照会)^{※1} 企業情報の照会

➔ 承認不要業務

担当者と承認者の区別がなく、承認の必要の無い取引です。

業務	利用可能な取引
利用者情報照会	利用者情報照会
取引先管理	<ul style="list-style-type: none"> 取引先管理(登録/変更/削除) 取引先管理(ファイル登録) 取引先グループ管理(登録/変更/削除) 取引先グループ管理(所属変更)
取引履歴照会	取引履歴照会
操作履歴照会 ^{※2}	操作履歴照会
債権照会(開示)	<ul style="list-style-type: none"> 開示(およびダウンロード) 受取債権/入金予定/支払予定の確認

➔ 承認対象業務

対象業務の担当者権限を保有した場合、その取引の仮登録を行うことができます。

対象業務の承認者権限を保有した場合、その取引の仮登録を承認することができます。

業務	利用可能な取引
記録請求	<ul style="list-style-type: none"> 債権発生請求(債務者請求) 債権発生請求(債権者請求) 債権譲渡請求 分割記録請求 債権一括請求 債権一括予約取消請求 変更記録請求 保証記録請求 支払等記録請求 取引先管理(登録/変更/削除)^{※3※5} 取引先管理(ファイル登録)^{※3※5} 取引先グループ管理(登録/変更/削除)^{※3※5} 取引先グループ管理(所属変更)^{※3※5} 承認未承認状況一覧^{※5} 限度額一覧照会^{※7}
指定許可管理	<ul style="list-style-type: none"> 指定許可管理(登録/変更/解除) 承認未承認状況一覧^{※5}

➔ 担当者権限/承認者権限

担当者/承認者	説明
担当者権限	電子記録債権の取引を仮登録または差戻された取引を修正/削除する権限
承認者権限	担当者が行った仮登録を、承認/差戻し(削除)する権限

① ご注意事項

- ※1 :口座権限が必要となります。
- ※2 :自分自身の操作履歴照会の場合、権限は不要です。
- ※3 :記録請求権限が付与された場合、取引先管理も利用可能になります。
- ※5 :担当者権限/承認者権限に関係なく、利用可能です。
- ※6 :担当者権限を保有している場合のみ、利用可能です。
- ※7 :承認者権限を保有している場合のみ、利用可能です。